

有志舎の新刊です。2020年4月中旬刊行

# 改訂増補 イラン現代史

—従属と抵抗の100年—

吉村慎太郎 著

四六判・ハードカバー・280ページ 本体価格 2,400円

「イスラム原理主義国家」というレッテルとは一線を画す、先鋭なイラン現代史の入門書。初版に改訂を施し、2001年から2019年に至るイラン政治と国際政治に関する新章を加えた待望の改訂増補版。

(目次)

- はじめに—「イラン現代史」を学ぶにあたって—
- 序章 「域内大国」イランの特異性
- 第1章 19世紀帝国主義時代下のイラン
- 第2章 立憲革命の展開と政治危機の深化
- 第3章 第一次大戦と戦後イランの混迷
- 第4章 レザー・シャー独裁王政の成立と変転
- 第5章 石油、冷戦と民族的抵抗
- 第6章 「改革」志向の独裁と米国、そして抵抗運動
- 第7章 革命、戦争と「党派対立」の激化
- 第8章 さらなる苦難の道へ

〈著者紹介〉

吉村慎太郎 (よしむら しんたろう) : 広島大学大学院人間社会科学部研究科教授、イラン近現代史・国際関係論専攻

～版元から～ 現代世界のなかで無視できない中東の大国イラン。その現代史は欧米諸国への従属と抵抗に彩られています。19世紀から21世紀の現在まで、欧米列強の度重なる露骨な介入と支配に対して、あるときはそれを受容し、またときにはそれに激しく反発・抵抗してきたイランの歴史を平易に解説する入門書です。「核開発」疑惑や「テロ」問題に絡めて、欧米から貼られる「イスラム原理主義国家」というレッテルとは一線を画し、イラン内部の葛藤や苦悩にも光を当て、この国の真の姿と歴史のダイナミズムを描き出しています。

初版に改訂を施し、2001年から2019年に至るイラン政治と国際政治の激動に関する新章を加えた待望の改訂増補版！

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	改訂増補 イラン現代史 吉村慎太郎 著 四六判・ハードカバー、280ページ 本体価格 2,400円	イラン史(現代)
	ご担当 様	新刊 ISBN 978-4-908672-39-2 C1022	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。

ご注文は (株) JRC (人文・社会科学書流通センター) へ

返品条件付注文です。

FAX : 03-3294-2177

電話 : 03-5283-2230